

# 令和6年度 学校評価

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察
<b>1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</b> 学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に向けていると思いますか。 (感動・感謝、郷土愛、いのちを大切に、子どもの体力向上、基本的な生活習慣など)	<b>2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進</b> 学校は、子どもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。	・1については、「4」「3」を占める割合が9割超えであり、子どもの心や体に関する教育に対して一定の理解につながっていると思われる。 ・2の自ら学びに向かう力については、教職員は校内研修で授業改善の研究に取り組んでおり、今後更にその取組の様子等を保護者に啓発していくことが必要である。
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		
<b>3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進</b> 学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスライ(中学校)など)	・3については、保護者・教職員は学習発表会で、地域学習に取り組んだ成果を工夫して集約し、発表したり、学校内の環境整備のボランティア活動に積極的に取り組んできており、学校での取り組みにある程度の成果を感じているといえる。今後は、今子ども達が取り組んでいる活動や学習が、どんな意味を持ち、将来どんな力になっていくのかを十分に理解させながら、日々の活動や学びを進めていく必要がある。	
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
<b>4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実</b> 学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。	学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。	・4については、児童生徒・教職員の捉え方と、保護者の理解との間に差が見られる。今後は更に学校でこどもが授業に取り組む姿を保護者に積極的に公開し、こどもの学びの様子を保護者に周知していくことが必要である。 ・5については、「4」「3」の割合が、三者とも8割を超えている。教職員は校内研修の研究主題に設定し、研究に取り組んでいることが理解につながっているといえる。
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
<b>6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実</b> 学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。	<b>7 インクルーシブ教育の推進</b> 学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。	・6, 7については、昨年度実施の学校評価の学校の支援体制、共生社会を担う人材の育成と比較すると、保護者による評価の「4」「3」の割合が10%以上アップしており、昨年度20%を超えていた「わからない」の評価が、今年度は20%減となった。学校の取組状況を保護者への周知を細目を実施してきた成果と言える。今後も継続して取組を推進していきたい。

(3) 最適な教育環境の整備		
8 安全・安心な園づくりの推進	9 地域や家庭と連携した教育環境の整備	
学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。	学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。	・ 8、9については、児童生徒及び教職員については昨年とほぼ同様の結果であるが、保護者については「4」「3」の割合が10%以上伸び、「わからない」と回答した保護者も減少している。取組の様子をつとめて周知してきた成果である。今後も継続して教育活動を推進し、その様子を保護者に周知する活動を進めていきたい。
(4) こどものいのちと権利の擁護		
10 こどもの最善の利益を守る環境づくり		
学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。		・ 10の項目について、「4」「3」の割合で見ると保護者・児童生徒と教職員の回答に20%の開きがある。学校での取組を進めるにあたっての学校としての考えや思いをこどもや保護者にしっかりと伝えていくこと、こどもや保護者が安心して相談できる場や時間の確保に努める必要がある。
来年度の具体的な取組について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に考え行動する力を持ったこどもを育てるために、個々の児童や保護者の思いやニーズを十分に把握し、一人一人のこどもの持てる力を最大限に引き出す教育活動の推進を目指し、職員研修を充実させ授業改善に取り組み、個々のこどもの更なる学力向上に取り組む。更にその取組についての考えやねらいを明確に保護者に示し、こどもにとって最善の環境で、最善の学びが提供できる学校力・教師力を高めていきたい。</li> <li>・保護者や地域と密に連携を図り、学校職員・保護者・地域と三位一体となり、あらゆる角度から「共に泉っ子を育む」という同じ視点を持って、お互い協力しあえる関係の構築を目指していきたい。</li> <li>・こどもの学校での学びや取組の様子等を保護者・地域に随時周知できるよう、学校HP・学校・学年・学級通信を活用した啓発を工夫したい。</li> </ul>		
小中学校関係者評価		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の頑張りがいろいろな教育活動の場面で多く見られる。子どももとても落ち着いている。</li> <li>・挨拶も以前に比べ、顔を見て笑顔で挨拶できる子が増えてきた。</li> <li>・授業に臨む子どもたちがとても落ち着いており、先生方も授業を楽しんでされている様子が伺えた。T bを効果的に活用した授業実践が行われていた。</li> <li>・どの授業でも、子どもが意欲を持って自主的に取り組む様子があり、学年が上がるにつれて考える授業展開がされていた。</li> <li>・今後も職員チーム力を高め、保護者・地域と連携・協力しながら、様々な教育活動の質の向上に取り組んでいきたい。</li> </ul>		